

# 2020年度 校内研究計画

## 1 学校課題

八幡小学校は、果樹園に囲まれ豊かな自然環境に恵まれている。昔から本地区に住んでいる家庭が多く、学校教育への理解と関心は高い。また、家庭での児童の生活は比較的安定しており、「家庭が楽しい」と感じている児童が大多数である。しかし、就寝時刻が遅い、家庭学習の時間が少ないという実態が見られ、生活リズムの改善や自主的な学習への意欲の向上が求められる。

学習に関しては、興味や関心をもって進んで取り組もうとする児童が多いが、学力の個人差が大きく、基礎的な学習内容が理解できていない児童もいる。また、知識を活用する力や自分の考えを分かりやすく書いたり発表したりする力が身につけていない児童が多い。話を聞く態度や聴く力が十分に身につけていない児童も多く、対話的な学びを進めていく上での大きな課題となっている。主体的・対話的で深い学びの実現のために、児童の実態に応じた授業改善を進めていく必要がある。

## 2 研究主題

「生きる力を支える確かな学力の育成」

～自分の考えを深められる学びの工夫～

## 3 主題設定の理由

本校の児童は、学校は楽しいと感じていたり、学校行事に一生懸命に取り組んだりする子どもが多い。学習についても真剣に取り組み、最後までやり遂げようと努力している姿が見られる。どの学年も単級で、学校生活の中で友達との関わりを学ぶことも多く、相手を思いやる気持ちをもった素直な子どもたちである。

しかし、児童による学校評価の結果から、「みんなのために役立っている」という意識が低い傾向にあり、自己肯定感の向上が課題である。やればできるという自信や、誰もが学級の大切な一員という自覚がもてる授業づくり・学級づくりを目指していく必要がある。

全国学力学習状況調査や県学力把握調査の結果からは、題意を捉えるための読解力や、課題の表現に対応した記述ができる表現力に、課題のある児童が多い。授業においては、自分の考えを持っていない児童や話を聞く態度・聴く力が十分に身に着いていない児童がおり、自分の考えを持ち発表する児童が固定化する傾向にある。

家庭学習については、取り組む時間や量の個人差が大きいという実態がある。自主学習につながる授業や主体的に学ぶ意欲を喚起するような課題提示の方法を考え、自らの意思で進んで学習する意識や態度を習慣化させていく必要がある。

「確かな学力」を育成するためには、確実な基礎的・基本的学習内容の定着と、それを基にした活用・探求する力を伸ばす授業づくりが不可欠である。新学習指導要領では、「確かな学力」をバランス良く育てることを目指し、学級やグループで話し合い発表し合うなどの言語活動の充実とともに、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習であるアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善が期待されている。

本校でも「やまなしスタンダード」の7つの視点をふまえながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりをすすめていきたい。そのためにはまず、主体的に「考え」しっかり「聴く」ことができる児童を育成し、自分の考えをしっかりと「表現できる」ことを目指したい。そして、それぞれの考えを教師が「つなげる」ことで、考えを「深める」ことができる授業をつくることを目指し、この研究主題を設定した。

## 4 研究の具体的内容と方法

### ◎授業づくり

(1) 「やまなしスタンダード」の3つの視点に基づいた授業改善

②話し合い、討論、発表などの言語活動を効果的に取り入れている。

③児童生徒は、他の人の話や発表に耳を傾けている。

④児童生徒は、ノートをとっている。

【特支版】

②障害の状態に応じて自ら考え、判断し、表現する活動を具体的に取り入れている。

③自主的・自発的な学習を促す教材・教具等を用意している。

④達成感や自己肯定感が高められる指導を工夫している

(2) 「主体的・対話的で深い学び」の実現（1人1実践授業を実施）

①考えの交流場面の工夫

②発問・問い返しの工夫

③板書の工夫

(3) その他

・Q-Uの分析方法と学級経営への生かし方学習会

・「情報交換」の場で、児童の家庭学習の様子や、家庭学習や教科指導の効果的な取り組み、教材教具の工夫・活用、授業づくり・学級力作りの手立てなど、お互いの実践例を発表し合い、実践については研究紀要にも記載する。

5 年間研修計画

月	日	研究内容	教科領域等	形態	担当	T・C要請
4月	8日	今年度の研究内容について		全体	研究主任	
5月	27日	授業づくりについて 学級力づくり学習会	授業づくり	全体 部会	研究主任 担当	
6月	3日	1人1実践授業案作成・検討	授業づくり	部会	部会長 授業者	
7月	15日	1人1実践授業研究会	授業づくり	部会	部会長	
8月	17日	教育課程還流報告 全国学力学習状況調査結果と授業 改善について	情報交換	全体	全員 教務主任	
9月	2日	1人1実践授業案作成・検討	授業づくり	部会	部会長	
	23日	授業案作成（含：1人1実践授業）	授業づくり	部会	部会長	
	30日	各研修会 還流報告〈1〉	情報交換	全体	担当	
10月	7日	Q-Uの分析方法と学級経営への生 かし方	授業づくり	全体	研究主任	○
	21日	各学級の学力向上のための手立て について	授業づくり	全体	各学年 研究主任	
	28日	授業案検討	授業づくり	部会	授業者 部会長	
11月	18日	授業案検討 5学年	授業づくり	全体	授業者 研究主任	
	25日	全体授業研究会 5学年	授業づくり	全体	授業者 研究主任	○
12月	16日	研究紀要原稿作成について	授業づくり	全体	研究主任	
1月	27日	授業づくりの実践報告 各研修会 還流報告〈2〉	情報交換	全体	研究主任 担当	
2月	24日	研究のまとめ・来年度の方向性 研究紀要原稿作成	研究のまとめ	全体 個人	研究主任	
3月	10日	研究集録編集作業	研究のまとめ	全体	研究主任 全員	

